

宗谷

宗谷教職員組合 「宗谷情報」 No.15 平成27年11月26日発行
発行責任者：高 一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



教育実践を紡ぐ運動をはじめよう

合同教研に、約30名で参加!

合同教研、江別市の札幌学院大学で十一月七〜八日に行われました。宗谷からは二八名の参加でした。毎年参加されている先生方に加え、「今年初めて参加します」という方々も多かったです。交流会ではそれぞれの討論・分科会で学んだことを交流しました。初めて参加された先生方からは、「頑張つて来て良かった!」という声が聞かれました。

七日の午前はテーマ別討論でした。五つのテーマごとにパネラーの方から問

題提起・話題提供があり、フロアーとして参加されている方々からは質問も含め、たくさんの発言がありました。

七日の午後から八日にかけては分科会ことわかれ、学びを深めました。毎年感じることは、全道の先生方の実践がすごいということ。参加して、レポートを読んで、討議で発言を聞くだけでも勉強になります。

レポートを書く、さらに学びが深まります。宗谷からは一六本のレポートが



先生とたまごのがっこう in Soya

12月12日(土)は第5回センたまです。これまでのセンたまでは講師の先生に来ていただき、教師を目指した理由を語り合ったり、学芸会の劇や器楽・合唱について学んだり、授業作りや評価について学んできました。参加された先生方からは、「勉強になりました。」といった声がたくさん聞かれ、よかったな〜と感じています。

さて、青年部では教育を紡ぐ動きを作っていきます。先生方はそれぞれの学校で毎日の授業づくり、学級・集団づくりを奮闘されていることと思います。その実践を持ち寄り、みんなで交流しましょう。そこをヒントに新たな実践がつながっていくのではないのでしょうか?「レポートがないと参加できないの?」という方もいらっしゃるかもしれませんが、なくても大丈夫です!まずは気軽に来てみてください。みんなで集まって、学びあいましょう!!

日時: 12月12日(土) 14時~16時
場所: 稚内北星学園大学

主なレポート

- ひらがなの指導
- 子どもの姿から出発する社会化の授業づくりを目指して勉強の苦手なきみたちへ
- 複式の理科における効果的な学習
- 「総合的な学習」との横断的な関連を図る理科の授業
- 礼文町の美術教育について
- 生活リズムの取り組みとメディアについて
- 猿払村立小中学校の連携について
- 利尻富士町健康体操でつなぐ、地域と子どもたち など

宗谷教育会館で展示・公開しています。

(初挑戦のレポートは5本!)。今年は教科教育のレポートが多く出されました。自分の実践に、それぞれの学校で教育実践をされている先生方が「こいこいね!」とか、「こうしたらもっとイイと思うよ!」といった様々な助言をしてくれました。先生方の実践の頑張りを見ながら、さらによくしていくために意見を言ってくれ、また1年頑張ろう!という気持ちになります。

レポーターを持参された先生方は、お忙しい中、実践をまとめてくださりありがとうございました。オプザーバーとして参加された先生方も江別までありがとうございました。ぜひ今回学んだことを支部・分会で交流し、みなさんに学びを還元してほしいと思います。来年もみんなで合同教研に行きましょう!(えを)



二学期も残すところ1か月ほど。子どもたちと過ごしてきた日々を冬休みに向かってどう締めくくろうかと構想を練る頃です。春から学級や学年で取り組んできた「子どもたちの生活の中に文化を創る」ということが、子どもたちの力で動き始める楽しい時期でもあるものです。

今回は、学校の先生として2年目の先生が、新年度の学級びらきから、「おたがいを知り合う」という文化をどう創ったかという実践レポートから引用します。

担任発表の後教室に戻ると、子どもたちはきちんと座り、緊張した面持ちでこちらを見つめています。大量のプリント配りと連絡事項をすませ、時計を見ると下校時刻まであと5分ほどありました。

何を話そうかな? そう思ったとき、「あーあの本だ!」と、ひらめいて戸棚から一番小さな短い絵本を取り出しました。宮西達也さんの『あしたのぼくは...』です。子どもたちに、「絵本読むから集合!」と言うと、みんなの顔がパツと明るくなって、ぼくのまわりにわっと群がってきました。きょうの僕はこんなことができないけど、苦手だけど、あしたの僕はこんなふうになりたい! (といいなあ)、僕は〇〇がきらい! にがて! できない。でも、明日のぼくは...そのことができるようになりたい!、得意になっていたり、好きになっていたり、ということがくりかえされるお話です。

「あしたのぼくは...」と言いつつページをめくると、それをくりかえしていると、途中から子どもたちが声を合わせて「あしたのぼくは...」と言いつつ始めました。絵本を読み終わって「みんなと一緒によい勉強したり遊んだりして、少しずつ、あしたのぼく・わたしが、すてきなぼく・わたしになっていけるといいなって先生は思っています」と言いました。

このあと実践レポートには、「子どもとつながる」ということを大切にしながら継続して行っている取り組みについて書かれています。

楽しいこと、つらいこと、苦しいこと、腹が立つこと...子どもの中に生まれる感情を聞かせてもらえることを僕は幸せなことだと思っています。そこから子どもとの対話が始まります。子どものことが少しずつわかり、そのことが教室をやわらかく温かく楽しい空間にしてくれます。この道すじは、教師の生命線だと僕は思っています。

参考文献/教育科学研究会「雑誌『教育』二〇一五・四
「大切にしたい!」4月号『5時』(城山 豊)より抜粋

道独自削減終わる！

今後は、学校職員人事評価制度が山場に

道教組・道高教組は十一月十八日に道教委と賃金確定交渉を行いました。すでに、勤務時間外職場集会で交渉内容については確認を済ませてお返しをしております。今回は、賃金確定交渉の舞台裏として、今回の交渉結果を改めてお話ししたいと思います。

賃金確定交渉は

教育条理を訴える大切な機会！

賃金確定交渉は、私たち道公務員が任命権者である道教委に対して私たちの給与問題や働き方の改善を求めて行う「労使交渉」です。しかし、そうした側面とともに、「目の前の子どもたちのために」と日々奮闘して

いる私たちの教師としての信念や教育条理を伝える大切な機会となっています。

交渉の中では、各職場で集めた署名が提出され、交渉団の中から代表が「現場発言」で、私たちの日常を自分の声で伝えます。交渉は事務折衝により、発言内容はすでに決まっ

ています。しかし、この「現場発言」と委員長による「まとめ」だけは、生の言葉で語ることができません。道教委側には、教育長をはじめとする課長級のポストのみなさんも大勢出席しています。教育職に就く者に訴える教育条理に満ちた「現場発言」や「まとめ」は道教委のみなさんに強く響いています。

道独自削減は終了。今後も未来を展望して声をあげよう

一七年間続いた道独自削減が終了します。今となっては、独自削減を実施している都道府県はほんのわずかです。そんな中、知事が道議会決算特別委員会の中で質問に答える形で表明しました。職場集会での受け止め

を聞くと「当然のことだ」「もとに戻るだけでしょ」という声も聞きます。

歴史を遡れば、道独自削減は一九九九年五月に当時の堀知事が再選し、道財政の「非常事態宣言」を発表したことからはじまります。その後、ボーナスのカットを皮切りに次々と削減を断行し、財政赤字の責任は横において、そのツケを道民と道職員の痛み分けにするやり方を続けてきたのです。こうして削減された金額を考えれば、前述の意見は当然の認識です。しかし、大切なのは、二度と人件費に頼ることがないよう財政運営の健全化を求めることをはじめ、道民の立場に立った道政運営を未来に向かって求めていくことです。

今後のたたかいはむけて

今後は継続した交渉として1月に賃金確定交渉を予定しています。現在、宗谷中・稚内港小で「モデル実施」されている「学校職員人事評価制度」が来年4月から行われるのではないかと言われています（正式提案はまだです）。教職員の協力協働を壊し、「成果」を求める学校教育を行うことになりかねません。「教育とは子どもたちの成長・発達を目指した集団的・長期的な営みである」という教育の条理が問われる交渉になることが予想されます。(nishi)

リレーエッセイ「言の葉」

賃金確定交渉を受けて

私が初任当初はバブル期最後の時期だったこともあり、年末調整にもらえた差額が給料の1ヶ月分に近かったことを覚えています。時代が移り変わって国内の経済助教も変わってきています。こうした中で、職員給与の独自削減が今年度を持って終了することが11月12日に表明されました。北海道独自削減は道の行政の失敗による財政難を一方的に道職員の給料から補填するという意図から行われたものでしたが、今回の表明で知事は独自削減が17年間続いていることを踏まえ「職員の士気や優秀な人材確保に影響があった」とした上で「職員の能力を最大限に発揮してほしい」との思いから本年度終了したい」と述べました。しかし、「17年経たないとそれも分からない事なのか？」という思いもあるのではないのでしょうか。独自削減は最高時には給料の10%もの給料が減らせ、この17年間で一人あたり300万円以上の賃金がカットされました。その金額は退職金にも影響を与えます。

今年4月から給料表が変更され以前の給料表から2%が下げられています。しかも、今回の独自削減は今年度の4月まで遡らないで、次年度からという可能性もあります。つまり現在続いている二重苦の状況が年度末まで続く可能性があるということです。さらに『学校職員人事評価制度』が始まれば、『評価』が『賃金』や『処遇』にリンクさせられる可能性もあり得ます。教育の協力協働を壊し、『成果』のみを求める学校現場にならないよう、そして私たち自身の給料を守るためにも、これから声を上げていきましょう。(宗谷教組本部/高 一伸)



最高気温が10℃を超える日が続く、「なんだが今年は冬が来ないなあ」と安心していたら、めっきり寒くなってきましたね。やはり毎年冬はしっかり来るようです。先日、稚内から豊富に向かう途中、道路のわだち部分にたまった水が凍って、アイスバーンになっていました。ツルツルです。みんなタイヤ交換はしているでしょうが思いは一緒、「氷の上は走りたくない」んです。左右に走る場所をずらして走っていました。これが危ない。広い北海道の道でも、対向車とストレスですれ違うことが何度もあり、ヒヤッしました。

これから本格的な冬に向かいます。動物たちも冬を迎える準備をしています。鹿もよく見ますね。外出されるときには道路状況をしっかりと判断し、スピードを抑え、交通安全に気をつけて運転しましょう。(えんどー)

組合費口座引き落としのお知らせ

いつも組合費を納入いただきありがとうございます。12月は臨時闘争費の引き落としがあるため、引き落としが2回あります。口座残高の確認等、お願いします。

- ① 12月15日(臨時闘争費(いつもの金額プラス3000円))
- ② 12月25日(12月分の引落し:通常金額です)